

応用数学分科会委員会での議決報告の概略
(2011年11月24日付け 応用数学分科会評議員 山本野人氏 発信のメール より)

以下の議案を応用数学分科会委員会として議決された案件とする。
ただし、今年度の運営に関しては例年通り合同研究集会の運営事務局で行い、
事後に今年度の運営事務局代表であり、同時に応用数学分科会委員でもある中本敦浩氏が
応用数学分科会委員会に対しその報告を行った上で、今後の相談をする:

議案: 応用数学合同研究集会の主催について

応用数学合同研究集会の運営事務局からの提案を受けて、
以下の研究集会を応用数学分科会として主催することを
提案する。

(1) 名称: 応用数学合同研究集会

(2) 目的: 応用数学分野のさらなる発展を目指すために、日本数学会応用数学分科会の主催による総合シンポジウムを創設したい。一方で、この分野では毎年12月に科学研究費の代表者らからなる運営委員会のもとで「応用数学合同研究集会」が開催されてきた経緯がある。そこで、この研究集会を包摂する形で総合シンポジウムとして開催し、研究者間の連携の拡大と深化をはかりたい。

(3) 運用: 応用数学分科会委員および現在の応用数学合同研究集会の運営委員を含む関連分野の研究者による運営委員会を構成し、資金の確保・講演者の選定とプログラム作成・数学会 WEB ページなどを通じたアナウンス・会場設営・報告集の作成などを行う。講演者は数学会会員に限定せず、より広い範囲で募集する。

(4) 備考:

名称については、分科会主催のシンポジウムであることを明示する「応用数学総合シンポジウム」などへの変更・追加も検討する。
運営については、日本数学会の共催に関して検討する。また、日本応用数理学会との共同主催＝共催に関しても検討する。
